

「公共事業コスト構造改善プログラム」

【 施策名：Ⅱ. 計画・設計・施工の最適化【2】 施工の見直し 】

河川内の堆積自然石を護岸裏込材として採取利用

概 要：

一級河川日付川河川災害復旧工事において、環境保全型ブロック積工の裏込材として、割栗石の購入に代えて、近傍の一級河川破間川内に堆積した自然石を採取し利用した。

効 果

- ◎ 購入材の使用を抑えることにより、コスト改善が図れた。
 - ◇ 裏込材工事費を、14百万円から8百万円に改善。
(改善額 6百万円、改善率 約43%)
- ◎ 河川内の堆積自然石を採取し利用することにより、河川断面の確保ができ、より良好な河川管理に努めることができた。



〔自然石の堆積状況〕

〔裏込材投入状況〕

〔仕上状況〕